

「自然・歴史・地域を守る砂留」

令和元年11月27日 堂々川ホタル同好会情報紙2019年度9号(創刊 179号)

1. 11月17日、恒例の11月の定例会を開催しました。特別プロジェクトを組んで、水野勝成400周年入城記念イベントと、神辺町観光協会主催の史跡巡りに併せて、時期外れの彼岸花を開花させ、お出迎えしようと挑戦したのです。結果、赤色系7本白色系約110本の花を咲かせ皆を驚かせました。残念なのは猪に16本掘り起こされ、頭の黒い動物に31本持ち帰られ、悔しいの一語に尽きます！植栽した子供たちに、大人はどのように説明するのでしょうか
2. 10月初めから赤松の枯渇が進み、アイタケ等のキノコが今年は見られない。松くい虫による松枯れは堂々川筋だけでも10本以上見られる。30年前の様に戻るのか！
3. 「ホタルを飛ばす」ための試み・川原の草刈りを実施 2番・3番・5番の草を刈る
4. 「ホタルを増やす」試み・ボカシ(EM菌)の散布 5番砂留川原を中心に実施
5. 11月の堂々川訪問者は広島市からの歴史研究G2組33人。観光協会等イベントで60人
6. フォトで見る活動



堂々公園内の土手に彼岸花 110本



イベントでのバスツアー



枯れ松を伐採



2番・3番・5番川原の草刈り



ホタルを増やす試み EM菌



広島市からのお客



紅葉始まる 1番砂留北のもみじ



事故折れのサクラ代品を植替

7. 次回の定例会行事

○日時：令和元年12月 日時の設定はしません。

各自、ご都合のつく時間にごみ拾い等を御意志で実施してください

*ホタルや花の堂々川情報はホタル同好会の推奨ブログ「自然を尋ねる人」に随時詳しく載せている。

ホームページのアドレス <http://hotarunokawa.web.fc2.com/>

ユーチューブで彼岸花の記事が見られます。ホタルのホームページを開いて、バナーをクリック

堂々川ホタル同好会 発行責任者 土肥 携帯 090-2865-3486

「彼岸花基金」設立について

9月以降不法投棄やポイ捨てが大幅に増加し、警察の巡回も増やして貰っていますが減りません。ごみ袋からS社の作業服や住所が出てきたようですが、既に罰金を取めたかな？

堂々川は昔からごみの多い川で有名だった。そのような惨状の頃の2006年、ホタル同好会を設立したが、ホタルを飛ばす以前の課題があった。黒い水の流れる谷から不法投棄物を掻き出し、川の中に捨てられたタイヤ、プラごみ、弁当の空き容器、ビン缶等を福山市の協力のもと処分し、伸びた草や小竹を刈り、「川の流れ」が見えるように奮闘した。2010年からはボランティアと近隣小学生の累計4000人強が植栽をし、数年前から福山市の新しい観光地に仕上げている。



それなのにここ数カ月、ごみや家電、弁当の空き容器が増えて会員は想定外の時間を費やしているのが現実です。



しかも無給ボランティアです。

このような活動が諸団体に認められて表彰状や感謝状はかなりの頻度で載っています。市長殿にも報告を兼ねて面会をお願いしていますが、現段階では思うようにはいきません。

ならば、自分達で表彰したり、教育基金として寄付できるような仕組みを作れば、と発案したのが、標記の基金を創設することです。



可能な浄財を 多くの皆様に ご寄付を
お願いしたいと思います

最近の事例

3、4番川原へ
2日続けては
ひどい！



今後の進め方

- ① ホタル同好会で専任担当者を決める
- ② 金融機関を決め口座を開く
- ③ 規定の作成
- ④ 会員、学校等と考え方の合意を得る
- ⑤ 表彰範囲、推薦方法の確定、副賞
- ⑥ 賛同者を募る
- ⑦ 令和2年より実施
- ⑧ 監視カメラの設置、依頼の検討

